

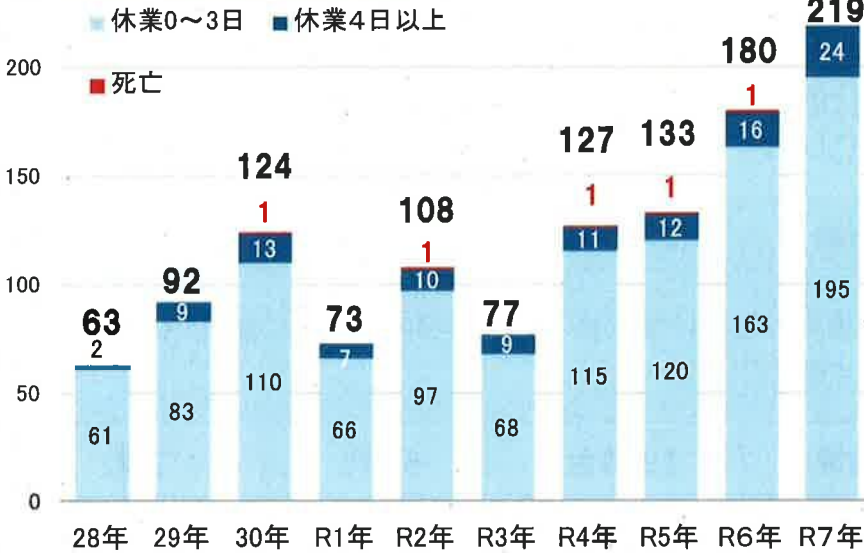


大分県の職場における熱中症発生状況



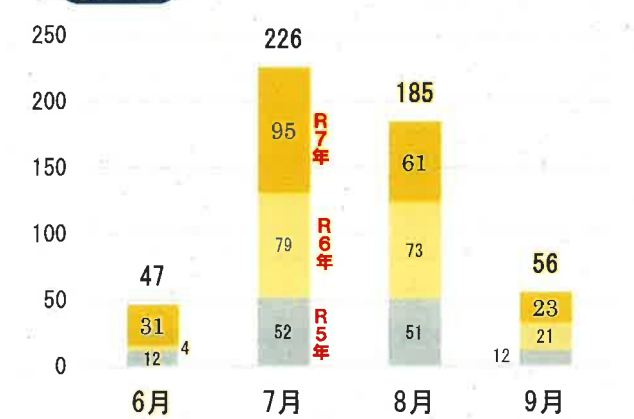
※労働者死傷病報告、療養の給付申請書等により把握した件数。※「過去3年」は令和5年、令和6年、令和7年の集計値

年別 熱中症発生状況



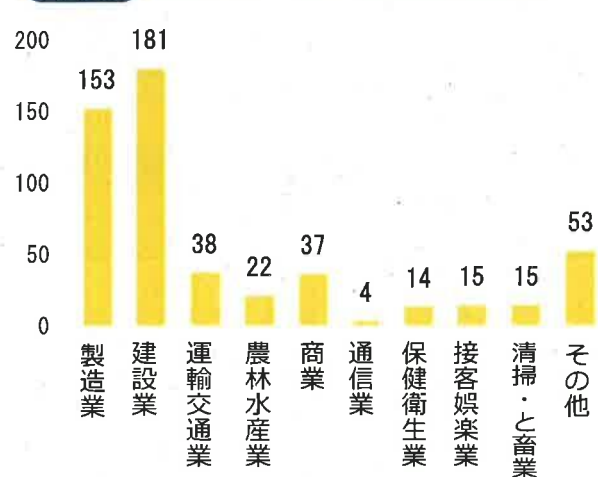
- ☞ 令和7年は219人が熱中症により治療を受けました。そのうち、休業4日以上の被災者は24人で、集計を始めた平成25年以降で最多の人数でした。
- ☞ 令和7年は、熱中症による死亡災害が発生していません。
- ☞ 平成28年度年以降の熱中症による死亡者数の合計は5人です。

過去3年 月別 熱中症発生状況



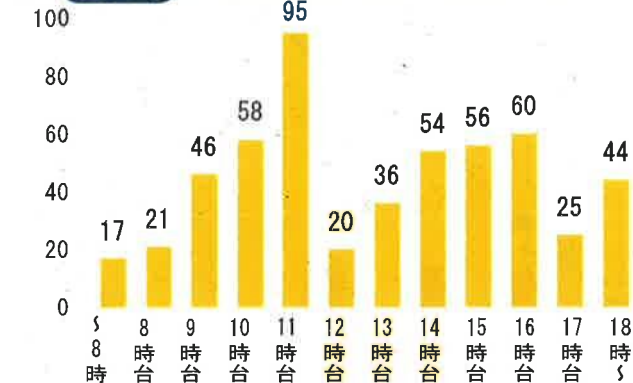
- ☞ 7月と8月に集中して発生しています。このことから、重点取組期間（7月）の予防対策に万全を期して、この2か月に臨むことが重要となります。

過去3年 業種別 熱中症発生状況



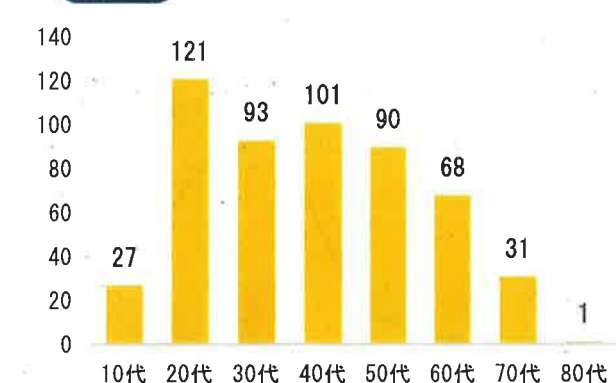
- ☞ 製造業と建設業の合計で、約6割を占めています。

過去3年 時間帯別 熱中症発生状況



- ☞ 作業開始から約2時間経過後の10時台、11時台と16時台に発生のピークが認められます。効果的な休憩取得の目安にしてください。
- ☞ 17時以降（勤務終了後）の発症にも注意が必要です。

過去3年 労働者年齢別 熱中症発生状況



- ☞ 10代と20代で約3割を占めています。夏季の作業経験が少ない等の原因が考えられます。
- ☞ 若年層に対する暑熱順化の配慮とともに、必要な教育を確実に実施していただくようお願いします。

熱中症による死亡災害発生状況



	発生年月	業種	発生時刻	年齢	経験年数
1	R 2年 7月	清掃・と畜業	16 時台	40 代	10 年
	産業廃棄物中間処理場の屋外で、不燃物の分別作業中、倒れているところを発見され、翌日、熱中症により死亡した。				
2	R 4年 7月	製造業	17 時台	40 代	2 か月
	クリーニング工場における寝具の仕分け作業終了後、工場内の通路に倒れているところを発見され、同日、熱中症により死亡した。				
3	R 5年 7月	建設業	19 時台	50 代	2 年
	土地造成工事現場で作業をして帰宅したが、同日夜に救急搬送され、熱中症により死亡した。				
4	R 6年 8月	警備業	15 時台	50 代	2 年
	道路改良工事現場で交通誘導を行っていたところ、熱中症により倒れ、翌日に死亡した。				



全国の職場における熱中症発生状況

